



2016年5月6日（金曜日）

残雪ハイク・燕岳（2763m）・登頂編

～Report by 石井（photo by 参加者のみなさん）

2日目、いよいよ登頂である。午後からの天候悪化予報を考慮して、当初のプランを変更することになった。朝食を弁当にして早朝に出発することに。ルートは、中房温泉の有明荘を出発し、燕岳登山口（1462m）から第一・第二・第三・富士見の各ベンチを通過、合戦小屋（2350m）から北アルプス三大急登と言われる合戦尾根を経て燕山荘（2704m）へ至る6時間50分の長丁場の歩きとなる。燕山荘でランチを摂り、その後、名所のイルカ岩・メガネ岩などを見ながら燕岳山頂（2763m）までを往復・散策する予定だ。



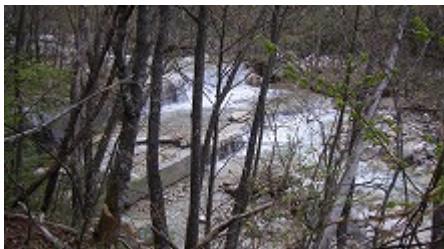
4：30。唐突に弁当の登場である。予定を変更して各自早目の朝食を摂ることにした
有明荘では、お湯を注ぐだけのみそ汁やコーヒーなども用意してくれている
朝食を弁当に変更して貰ったので、見ての通り立派な内容だったが、食べきれない人もいた



有明荘前、出発前恒例の記念撮影。皆さん元気な顔だ。座った形はめずらしい



出発前のストレッチに余念がない。登山口までの道路を1K程歩く
話題が尽きない堀さんだが、ペットボトルが見当たらぬと探し始めた。預けた荷物置き場にあったらしい



中房川の流れを左手に見ながら歩くと、おんせん橋にたどり着く



橋を渡るとカーブミラーがあった。こんな撮り方も面白い



中房温泉、燕岳登山口に到着。出発前のチェック・準備をする



ここでのワンショット。雄さん持参のミニ三脚が活躍する
本人は、タイマー設定後、何故かザックを背負ったままで猛ダッシュと大忙しだ
雪の燕岳は初めての「布目さん」、本格的な残雪ハイク・初参加の「中島さん」の顔も
田形さん・横川さんペアも久しぶりの参加だ



5：35頃・登山開始。燕岳登山の洗礼だ！いきなりの急登が始まった
熊本さんが「今日はゆっくり行きますよ」と先頭に立って進み始めた



6：10頃：第一ベンチに到着。まったく夏山の登山道だ



暫し休憩の後、出発。第二ベンチへ急登は続く。オオカメノキに花が付いている。この時期に早い！

登山道の途中に見慣れぬ花が咲いていた。2年前は残雪ばかりで目にしなかった光景だ



バイカオウレン（キンポウゲ科） イワナシ（ツツジ科）：果実は梨の様な甘さがあるらしい
尋ねる人が多いのだろう、燕山荘の掲示板に写真が貼られていた



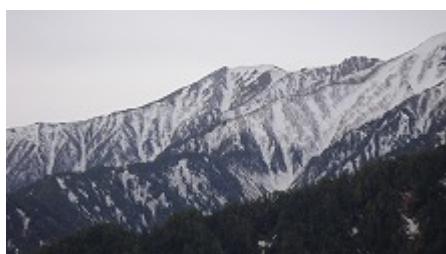
そうこうしている内に第二ベンチ到着。雪は未だない



第三ベンチへ進む。相変わらずの坂道だ



やっと残雪の残骸らしきものが現れた



常念岳の稜線が見え隠れするころ、第三ベンチに到着した

ここまで雪が無いのは、燕岳5回目の熊本さんでも初めてらしい

なんと、女・堀さん3人目登場か！布目さんがストックをベンチに置いたまま出発してしまったのだ



富士見ベンチへ向かう、ようやく雪が出て來たのでアイゼンを装着した



富士見ベンチ到着。ここで富士山が見えた事がないらしい



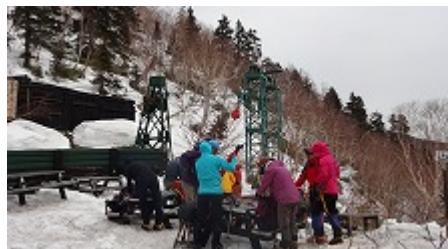
残雪ハイクらしくなってきた
途中面白いところが出て來たので
みんなで遊んでみた
昨夜の深酒の勢いだ！



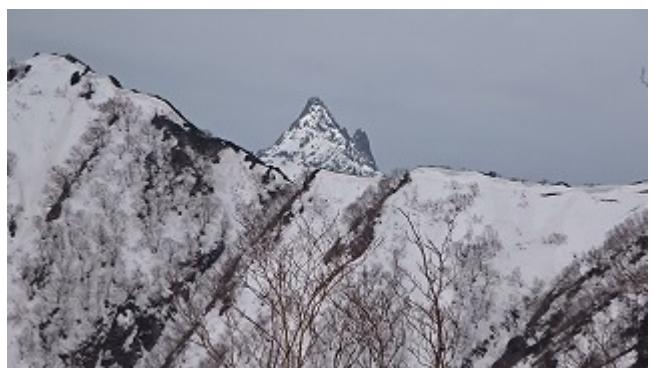
遊びが高じて、こんなところで一枚。みなさん、いい笑顔だ



このあと、アイゼントラブル発生
応急処置で装着する
小屋入り後に調整をやり直したが
メーカーごとに金具の形式があり
判りにくく難しかった



9：15頃・合戦小屋で大休止。この時期はスイカキャンディー?だ。今年の小屋は埋もれていない



合戦小屋を後に進むと、ついに槍の穂先が顔を出した。雪槍が見えたと布目さんが歓声を上げた



ここは合戦沢の頭（2488m）？のようで、いつもは埋もれている道標やベンチまで露出していた
(大雪原展望台かもしれない・・・が、判然としない)



反対側は槍ヶ岳方向、槍ヶ岳を真ん中にしてもう一枚



目線の先に燕山荘が確認できる。さあこれからが胸突きハ丁。いよいよ合戦尾根だ！！



暫く行くと、絶好ポイント？があった。で、この状況。今日、何度目だろう・・・



段々と高度が上がり、槍ヶ岳の雄姿がハッキリして来た。一幅の墨絵の世界だ



合戦尾根をこなし、燕山荘が目の前に近付いて来た



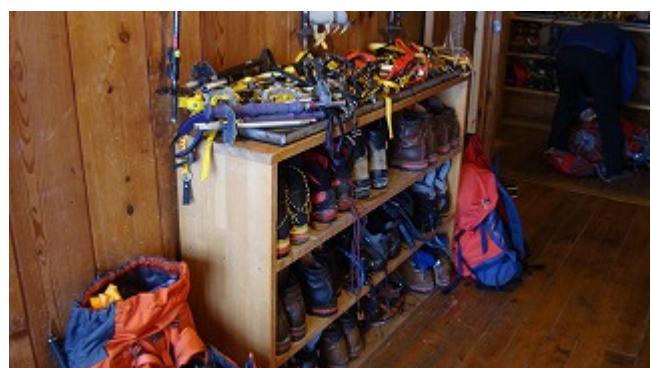
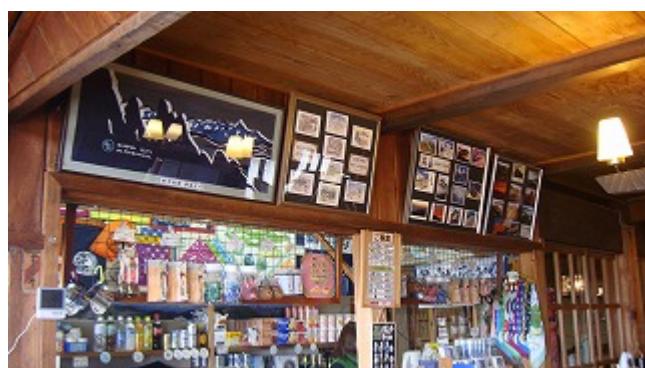
10：55 分頃：先行チームは燕山荘到着。登山口からの行程、約 5 時間 20 分
美しい佇まいの山荘だ。今年で 95 周年になるそうだ



そのころ後続チームは、小屋脇で「ライチョウ」君?に遭遇。警戒心がなく、お食事の最中で冬毛から夏毛への移行期の様でした。ちょっとのタイム差でのラッキーな出会いに恵まれました



11：10頃・到着の記念撮影。右後方がランチ後向かう山頂だ



チェックイン後、荷物の整理など・・・



左が女性陣・右がおじさん部屋です。天候の影響か、泊り客が少なく楽々スペースでありました



この間、本格的な山小屋初体験の「N嬢」は、山荘内の探索に励んでいたようあります



ひと段落して、ランチタイムとなりました



王道のビーフカレー



豚汁とご飯



少々リッチなカツカレー



お腹が空いていたので、食べているところは撮り損ねました

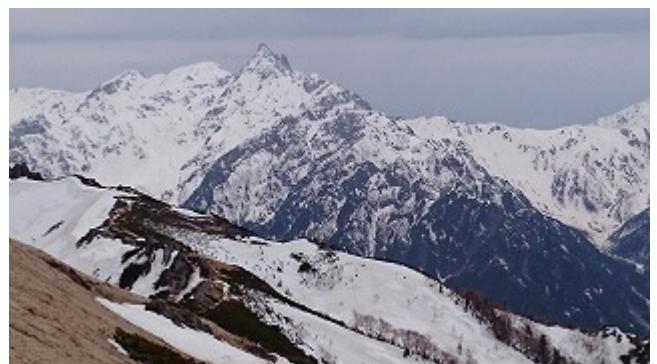


なんと！カレーに豚汁とは・・・

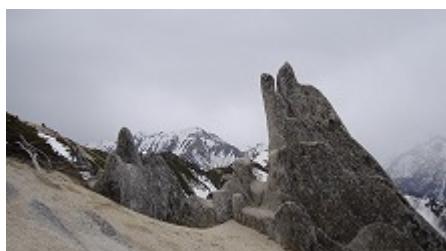


カレーうどん

さて、カレー&豚汁の
アイディア?は誰でしょう
「次回は食べたいな~」の声
多数あり



ランチ後の眺めは格別でした。「陽射し無くも視界良し」



有名な「イルカ岩」・「メガネ岩」を通過



燕岳山頂にて、渾身の記念撮影（雄さん作）。本日、これにて一件落着か？

（検証の結果：やっぱり、剣岳は見えるのだ・・・）

間違えて、槍ヶ岳を「剣岳が見えた」と発信した人もいたが、見えるのですから問題なしです！？

でも、写真まで添付していたら・・・



更に本日の一枚だ～！！！（念のため、記念撮影ではありません、これも勢いです）



心に残る眺めでありました



帰り道を行く皆さんの遠望。燕ならではの景観だ。戻り始めると槍ヶ岳にはガスが掛かり山荘にたどり着くと、なんと雪までちらつき始めました



食堂でいつもの一杯。10名で宿泊料1割引の特典があり、生ビール代が浮きました



その後は、ティータイムとオーナーのお話を拝聴



田形さん持参の便利な固体燃料のストーブ



赤沼オーナーとアルプホルン。字余りならぬ、全貌入らず。失礼



そのころ外は、すでに雨、濃霧に包まれておりました。早出正解！！熊本隊長の判断、面目躍如だあ～



本日、締めくくりの晩御飯です



燕山荘の食事は
泊まりたい山小屋のNo.1 と言われるだけあって
高所にある山荘の中では
レベルが高い感じがします

*燕山荘さんでは、ソニーの液晶TVとブログ用にデジカメ等もご使用いただいておりました



明日の天気予報が厳しいので、朝食後、早目の出立予定となりました
ちなみに、夜半は暴風雨状態でありました
さて、どうなることやら・・・イビキのサンドイッチにも襲われながら
びゅ～ビュ～ガタガタ・ザア～ZAA～ボタボタ・ぐお～ガオ～・じゅるじゅる・・・

同じ山でも、こんなに表情が違うものですね。いい一日でした。 おやすみなさい